

取扱説明書

油圧式ホイール・スケート

品番：# 3 2 2 2 0 0 0 0 型式：1 0 2 3 3 2

1, 使用方法

- ①タイヤの外径に合うように、3 6, リリースバルブを反時計回転方向に回して、2本の3, ローラーの幅を、タイヤを挟み込む程度まで手動で広げて下さい。この時、タイヤの中心と3, ローラーの中心を合わせて下さい。
- ②3 6, リリースバルブを時計回転方向に手で締め込み、3 1, ペダルをゆっくりと上下に操作して下さい。
- ③タイヤを必要な高さまで上昇させて、3 3, ロックピンを1, 左ボデーの穴に挿入して下さい。もう一方のタイヤも同様に同じ高さまで上昇させて、3 3, ロックピンを挿入して下さい。その後、移動作業を行なって下さい。
- ④降下は、3 3, ロックピンを抜き、3 6, リリースバルブを少しずつ反時計回転方向に回して下さい。この時、3 6, リリースバルブを急激に回すと急降下し、危険ですのでゆっくり回す様にして下さい。
- ⑤タイヤが地面に接地した事を確認の上、3, ローラーの幅を手動で広げて、本機を引き出して下さい。

2, 注意事項

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)

- ①本機を**軟弱地や、傾斜面、荒れた地面で使用しない**で下さい。必ず平らな舗装された路面で使用して下さい。
- ②使用前に各部を点検し、破損、摩耗、異常がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ③必要以上に本機を利用して車を高く上昇させないで下さい。車が安定せず落下する恐れがあります。

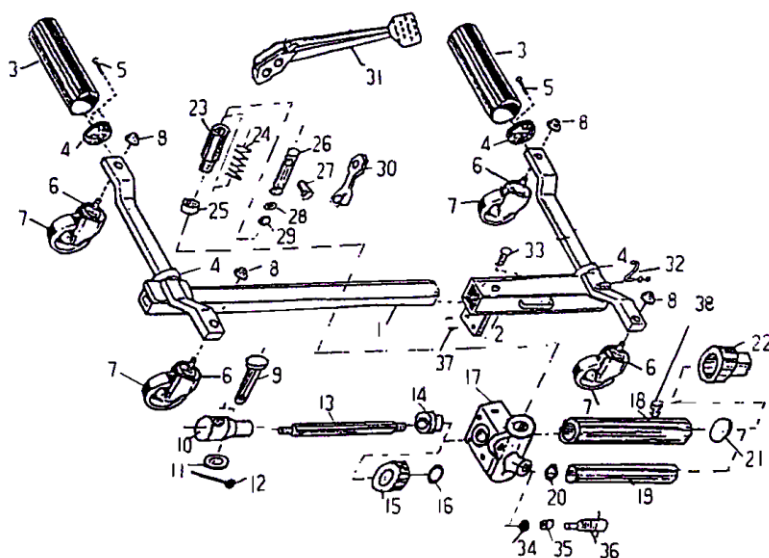
△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①本機の最大使用荷重は、**1台で800kg**です。それ以上の荷重を掛けないで下さい。
- ②タイヤの**幅が225mm以上ある場合は、本機を使用しない**で下さい。
- ③本機をジャッキや、サポートジャッキとして使用しないで下さい。
- ④車を本機に乗せたまま、運転したり、**急な移動や乱暴な取り扱いをしない**で下さい。
- ⑤動箇所には、定期的にオイル、又は、グリースを塗布して下さい。
- ⑥ボルト、ナットの締結を定期的に確認して下さい。
- ⑦本機は、車のタイヤを載せて移動させる機器です。その他の用途には使用しないで下さい。
- ⑧本機の改造はしないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなる恐れがあります。
- ⑨車を降下させる時は、周囲の安全を確かめて下さい。又、**タイヤの下に手や足等を入れない**で下さい。
- ⑩定期的に3 8, オイルプラグを外してオイル量を確認して下さい。減っている場合は、油圧オイルを充填して下さい。

3, 油圧ポンプの交換方法

- ①1 3, ラムを最後まで縮めて下さい。
- ②3 7, ネジ4本を反時計回転方向に回して緩めて下さい。
- ③9, ロックピンを1 0, スリーブから抜き取って下さい。
- ④1 0, スリーブを反時計回転方向に回して、1 3, ラムより取り外して下さい。
- ⑤油圧ポンプ部一式を取り外す事が出来ます。新しい油圧ポンプを分解と逆の手順で組み立てて下さい。

4, 部品分解図



品番	部品名称	品番	部品名称
1	左ボデー	2 0	シールリング
2	右ボデー	2 1	タンクワッシャ
3	ローラー	2 2	タンクナット
4	ルートパイプ	2 3	ポンプ
5	ロックネジ	2 4	スプリング
6	キャスター	2 5	スプリングカバー
7	ホイール	2 6	ポンプコア
8	ロックナット	2 7	ピン
9	ロックピン	2 8	ポンプコアシール
1 0	スリーブ	2 9	オリング
1 1	ワッシャ	3 0	コネクティングロッド
1 2	ピン	3 1	ペダル
1 3	ラム	3 2	フック
1 4	ピストンヘッド	3 3	ロックピン
1 5	シールリング	3 4	スチールボール
1 6	オリング	3 5	シールリング
1 7	バルブベース	3 6	リリースバルブ
1 8	タンク	3 7	ネジ
1 9	シリンダー	3 8	オイルプラグ